



# おれんぶニュース

No 242

2010年5月号

福智山の虎の尾櫻 3月28日



福智山8丁の辻をこえて行く

★集会・委員会・行事関係のお知らせ★				★山行の一步は会合から★		
5月				6月		
運営委員会	11日(火)	19:30~22:00	西諫早公民館	8日(火)	19:30~22:00	西諫早公民館
ひまわり集会	7日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館	4日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	25日(火)	19:00~22:00	西諫早公民館	22日(火)	19:00~22:00	西諫早公民館





これからが問題の石段ですよ。



鬼の作ったと言われる石段も余裕で！



懸垂下降もうまくなったねえ(\*^\_^\*)



やっとみつけた 熊群山の三角点



いいよ、いいよたくさんもっていきなさい。

神様、椎茸をこんなにたくさん  
いただいでかえります。



サバノオ



ヤマドリソウ



## 5月の山行計画

部	技術研修部	ひまわり山行部	山行部
月 日	2日(日)~3日(月)	14日(金)	30日(日)
山 名	いむたがいけ 藺牟田池外輪山 長尾山、本仏石	帆場岳 506m 四ツ峠	弓張岳 364m 但馬岳 385.7m 将冠岳 449m
地 図	塔之原 横川、薩摩黒木	長崎東北部 長崎東南部	佐世保北部
集 合 場 所	JR諫早駅 6:00 JR西諫早 6:10	JR諫早駅 7:23 JR西諫早駅 7:27	JR諫早駅 7:00 JR西諫早 7:10
帰 着 時 間	19:30	18:00	19:30
歩 行 時 間	4.5時間程度		
難 易 度		一般	中級
交 通 手 段	マイクロバス	JR&バス	マイクロバス
宿 泊 施 設	バンガロー	なし	日帰り
温 泉	いこいの村いむた池	なし	
参 加 費	12,000 円	運賃実費	3,500 円
申 込 期 限	満員になり次第		満員になり次第
	佐原	江崎	田中
備 考	ベッコウトンポを見て みよう	360度の大パノラマ	西海九十九島展望 やまつつじ鑑賞登山
感 想 提 出	5/11(火)	5/25(火)	6/8(火)

### 技術研修部より

4月17日(土) セルフレスキュー(JR 西諫早駅 9:30 集合)

4月22日(木) 岩登り (JR 西諫早駅 9:00 集合)

5月23日(日) セルフレスキュー(JR 西諫早駅 9:30 集合)

5月27日(木) 岩登り (JR 西諫早駅 9:00 集合)





## 6月の山行計画

部	自然保護部	山行部	技術研修部	ひまわり山行部
月日	6日(日)	13日(日)	20日(日)	25日(金)
山名 (行事)	クリーンハイク 土師野尾ダム	九重山群 扇ヶ鼻 1698m 肥前ヶ城 1685m	根子岳東峰 ヤカタガウドルート (1408.1m)	鎮西山 (200m)
地図	諫早南部	湯坪・久住山	根子岳	中原
集合出発	JR西諫早駅 9:00	JR諫早駅 6:00 JR西諫早駅 6:10	JR諫早駅裏 6:00 JR西諫早駅 6:10	JR西諫早駅 8:00
帰着時間	14:00頃	20:00頃	20:00頃	16:00頃
歩行時間	4.5時間程度	6時間程度	6時間程度	3時間程度 (12km程度)
難易度	初心者	初心者	やや健脚むき	初心者
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	なし	有り	有り	有り
参加費		5000円	5,000円	1500円程度
申込期限		満員になりしだい	満員になりしだい	満員になりしだい
集約	中村	田中	佐原	江崎
備考	火ばさみ・弁当 持参	ミヤマキリシマ ドウダンツツジ 鑑賞登山	九州で一番美しい オオヤマレンゲを 見に行く	鎮西八郎為朝 に由来する山
感想提出	6/13(日)まで	6/22(火)まで	6/30(水)まで	7/10(土)まで

### ニュース

4月1日から4日まで、長崎市出島町、県美術館県民ギャラリーで大矢銃士<sup>つぐひと</sup>氏の写真展が開催された。

写真展タイトル「ヒマラヤ巡礼ー荘厳な美しさと厳しい自然に強く生きる人々」。

オレンジメンバーが多数訪れていた。

4日(日)は総会翌日と云う事で國分さんなど来諫されていて川原さん等といっしょに見学していた。

大矢氏はとてもきさくな感じの方で、一緒に写真を撮らせていただいた。





## 第31回定期総会開催

オレンジハイキングクラブ第31回定期総会は4月3日(土曜日)10時より、西諫早公民館において開催されました。会員数激減の中、33名(男14, 女19)の出席がありました。

また「あゆみハイキングクラブ」の石田会長が交流を深めたいと参加されました。

篠原さんの司会により、総会役員として坂口議長、田中(紘)副議長、松園書記、篠原議事運営委員を選出し、福岡会長あいさつ、川原一之県連理事長のメッセージ(別紙記載)代読、あゆみハイキングクラブ石田会長あいさつのあと議案審議に入った。

### (1)活動方針

議案書にそって提案説明と報告があり、それぞれに質問や意見要望が出されて、2010 年度活動方針・予算とも一部追加・修正のうえ提案通り承認決定されました。

#### 主な意見要望

- \* 全体の方針の中に「クリーンハイキングに積極的に参加し、自然保護の意識を高めます」を追記する。
- \* 予算書支出の部で県連盟費350円が330円になる(遭対基金積立金20円が不要になった)修正を。
- \* 組織部でオープンハイキングを2回としたのは、昨年出来なかったから今年やりたい。全体で取り組むことになるが新組織で改めて提案していくことになる。
- \* セルフレスキューは参加者が少ないが、やっているうちにバランス感覚も良くなり下り坂でも滑らなくなった。岩場での山行時間短縮や事故防止にもなる。タダで訓練できるのです。声をかけ合ってもっと参加しましょう。
- \* 各専門部長は山行計画や山行時の人集めに苦労しているが、これはおかしい。行きたい所に行きたい人だけが計画して行く山行が組めないか。
- \* そのためには連れていってもらわなければならないだけでなく、各自が図書館などを利用して山の知識を吸収しておくことも必要。
- \* 短期間にかたよった山行や、連続しての泊まり山行は、主婦にとっては行きたくても出づらい。程良い間隔で計画してほしい。
- \* 各部の計画を横断的に調整する機関が必要ではないか。またある程度長期的な計画をたてることも求められる。これらを行う機関として企画会議を設置してはどうか。
- \* 全体集会の後、専門部会で次回の企画を立てられるように設定しているが機能していない。
- \* 以上会の運営のあり方について種々の意見が出たが、総会の中で詰めるのは時間的に無理であり、もう少し時間をかけて議論することにした。
- \* 山行報告書の活用法については模索しているが、データベース化を進めるためにも確実な提出をお願いします。



## (2)新役員

\*2010年度の役員、各部長、県連委員も満場一致で選出承認された。  
各部副部長も4月13日の第1回運営委員会で選出された。

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| ★会長:福岡正廣                   | ☆副会長:中尾繁則、佐原満子 |
| ★事務局長:兵庫芳隆                 | ☆会計:金丸直美       |
|                            | ☆会計監査:佐藤伯隆     |
| ★山行部長:中須賀孝正                | ☆副部長:篠原弘二、田中静香 |
| ★技術研修部長:川原慶紀               | ☆副部長:岩田光雄      |
| ★ひまわり山行部長:小山準之介            | ☆副部長:江崎幸子      |
| ★自然保護部長:松尾敏晴               | ☆副部長:中村かずえ     |
| ★事務局長:兵庫芳隆                 | ☆次長:鎗水律夫、山下ちず子 |
| ★県連理事:坂口荘一、松園朱實(女性担当委員を兼任) |                |
| ★遭対基金担当委員:篠原弘二             |                |
| ★県連評議員:福岡正廣、篠原弘二           |                |

### オレンジハイキングクラブ総会へのメッセージ

オレンジハイキングクラブの皆さん 総会おめでとうございます。

長崎県連盟に集う山の仲間を代表して連帯のご挨拶をお届けします。

はじめに福岡会長をはじめ会員みなさんの日頃のご努力に敬意とねぎらいの気持ちを表します。また県連盟の諸活動へのご協力にも心からお礼を申し上げます。

皆さんの会活動は昨年30周年を迎えられましたが、その30年を越える伝統と歴史を生かしたもので、他の会への大きな激励になっています。

なかでも繰り返しレスキュー講座を取り組んでおられますが会員の高齢化による事故を防ぐためには大変有効です。

今連盟では「個人会員制度の導入」や「事故防止」などの課題があります。

県連盟でも仲間を広げることはもちろんですが、日頃の山行が楽しいものになるように事故防止、魅力ある会運営や山行企画ができるように、それぞれの会の交流を強めるよう努力したいと思っています。

先日 初めて開催しました写真展では750人を越える方々が来場され、その評価ではおおむね初期の目標を達成できたことから来年も続けることにしています。

みなさんにとっては会場が遠く申し訳ありませんが、どうぞ明日からの山行では写真を撮ること、そして出品することも山行の楽しみに加えてください。

県連盟理事会も皆さんのご協力を支えにしながら、登山愛好者や市民から必要とされる組織でありたいと日常の活動を進めて行きます。

オレンジハイキングクラブの皆さんがより多くの仲間に登山の楽しさを広め、会が発展されますように期待し、今日の総会が活発な意見交換で有意義な総会になりますように祈念し、簡単ですが理事会を代表して連帯と激励の挨拶とします。

2010年4月3日

長崎県勤労者山岳連盟

理事長 川原 一之



## あたらしい仲間

新会員 松尾 香一さん (諫早市在住)

「会員の皆さん、初めまして今回オレンジHCに入会させて頂きました。四十七年の仕事人生を昨年卒業しまして、これからの健康のために山歩きを始めようと思ったのも理由の一つではありますが、自由な時間が持てるようになったらまず最初に実現したかったのが四季おりおりの山々を自分の目と足で、大自然のすばらしさを肌で実感したいと思っております。

会員の皆さんにいろいろなことを教えて頂きこれからはゆっくと、焦らず無理をしないで山歩きを楽しみたいと思っております。

又、山歩きで得た大自然の素晴らしい体験を家内と、三人の娘の家族と一緒に山歩きが出来る日を夢みながら……。そんな思いで入会させていただきましたので宜しくお願いします。」

再入会 森 寿美子さん (諫早市在住)

「やっと元気になりました。又、山に登れます。みなさん、よろしくおねがいします。」

新会員 森下 忠彦さん

「山歩きを楽しみたいと思い入会しましたが、年齢的に少し遅くなり不安もあります。

月に1～2回のペースで参加したいとおもっています。山が好きになりたいと思っていますのでよろしくお願いします。」



## 3月・4月の山行報告

**3月14日 (日)**

### 熊群山

〈参加者〉川原、佐原、田中(静)、岩永(の)、國分、中野、山下、松尾(敏)、下釜  
松園、森田、坂口

会員外：富永(東部)、森(寿)、後田、岩永、土井

〈行程〉諫早=(高速道)=由布IC=庄内=9:40 登山口・熊群神社入口～10:00 神楽殿～片足  
鳥居～護摩殿～鬼の石段～10:55 上宮～岩壁(鎖場)～12:40 熊群山頂(804.9m,昼  
食)～15:00 登山口=湯平温泉=諫早 [＝バス、～徒歩]



〈記録・感想・反省等〉

熊群山は山下さんが昨年から計画していた山である。1月27日には川原、山下、田村、坂口の4名が偵察山行を実施した。

朝から曇っていた空も次第に晴れ上がる。ただ、足元が湿っているのが少し気になる。1班の山下SLが先導し迷うことなく行程を進める。登山口よりセメントの簡易舗装道がいきなり急坂で10分も経たないうちに汗ばんでくる。程なく神楽殿に着いて衣服調整。神楽殿の戸を開けて中を覗くと奥の方が神輿殿となっており神輿が安置されていた。見返り坂を経て平坦な三叉路の先に鳥居があった。近づいて見ると中央部分の石組みが離れており、左右それぞれ片足で立っている。長崎の被爆片足鳥居は有名であるが、ここでは2本も見ることが出来る。テレビ番組の「なにこれ珍八景」に出しても十分行けそうである。(下山途中で宮司さんに出会ったのでお尋ねしたら、以前地震があった際に地盤がずれてこうなったとのことであった。)



護摩殿を拝し手前の坂が最初の難所、鬼が一夜にして築いたとされる石段を登る。

これほど急で段差の厳しい石段は他に例を見ない気がする。おまけに自然石の石組みが不規則で不安定な上に苔が生えていて滑りそうである。やっとの思いで登り切ってやれやれと思った途端、角を曲った先にまた同じくらいの石段が控えている。石段を登り切ったところが上宮。お社は斯様な山奥にもかかわらず里人の信仰の厚さが察せられるりっぱな造りである。

登山道は上宮の右奥に続くがすぐに絶壁に突き当たる。おそらく昔はここで行き止まりであったのかもしれないが、今は太くて頑丈な鎖が取り付けられている。ハーネス持参の人には装着して貰い、ない人にはテープシュリングで簡易ハーネスをつけてもらう。先ず、坂口がロープを担ぎ鎖づたいに登って確保態勢を整える。続いて登った森田さんにはさらに上段まで上がってもらい確保を依頼する。川原さんの指導の下、國分さん、山下さんの補助で1,2班の全員が絶壁の上まで上がることが出来た。絶壁を過ぎてさらさら急坂は続き、時計は12時を過ぎていたがあとひと息と云うことで山頂を目指す。

山頂部は広く平坦な丘陵で落葉樹の灌木に覆われていた。先に進むと杉林となり、その片隅にひっそりと三角点が設置されていた。記念撮影をして引き返し、灌木林の日なたで昼食をとる。

復路は往路をそのまま下山した。絶壁はひとりずつ懸垂下降で下りてもらった。生まれて初めて懸垂下降する人もいたが、何とか無事に全員が下降した。結局、絶壁の上りと下りで長時間を費やしたが、このことは予期せぬことであった。

麓では我々の下山があまりにも遅いので佐原さん達が心配しておられたと後で知らされたが、我々は自分たちの行動のことで精一杯の状態であったため心配をかけていることには気づきもなかった。帰路は湯平温泉で汗を流した。



今回の山行では、普段、技術研修部主催のセルフレスキューに積極的に参加し、多く



の会員がロープ技術を身につけておく必要性を感じた。また、偵察山行と本山行の全体的な行動能力の違い、パーティーが分かれる際は相互連絡可能な状況を確実に備えなければならないことなど、いくつかの反省点が見受けられた。

(坂口 記)

3月19日(金)

### 熊本県玉東の山 二ノ岳～三ノ岳

<参加者> 江崎 金丸(直) 小山 佐原 松尾 中須賀 林田 小島 佐藤 松永(外)  
(10名)

<行程> J R 西諫早駅前 7:00→多比良港 8:20→長洲港 9:00→二ノ岳 11:40→  
三ノ岳 13:25 →草枕温泉 16:00→長洲港 17:10→多比良港 17:50→諫早市内

<感想>

西諫早駅前を7時に車2台に分乗し、車は一路多比良港を目指して出発し、8時10分ごろ多比良港に到着した。暫くしてフェリーに乗り込み約40分の船旅、NHKの朝のドラマを見る人、語り合う人、それぞれの人達が船旅を楽しんでいる内にフェリーは長洲港に到着、フェリーから上陸し、2台の車は二ノ岳、三ノ岳を目指して走り出した。

途中、道を間違えるというハプニングもあったが、車は11時過ぎ二ノ岳登山口に到着した。

登り始めて暫くすると丸太で仕切られた階段の急な坂道になったので、衣服調整をしたが、汗を出しながら685メートルの二ノ岳の頂上に着

いた。その頂上からの眺め、何と素晴らしいこと、360度に近い大パノラマ。西側には遠く霞んで見える雲仙岳の山々、女性の方々は「何と素晴らしい眺め」と感嘆の言葉が次から次へと、12時近くになっていたのも、素晴らしい景色を眺めながらそこで昼食となった。

二ノ岳山頂までの自然を満喫し、12時45分ごろから登ってきた道を下り始め、二ノ岳登山口まで下り、そこから三ノ岳登山口に向かい、三ノ岳を目指して登り始め、13時25分ごろ、第二の目的地である681メートルの三ノ岳の頂上に到着した。途中、丸太で仕切られた階段の急な坂道ではあったが、二ノ岳より少し楽な感じがした。女性の方からも「4メートルの違いでこんなに違うのだろうか。」という声を発しておられた。三ノ岳の頂上からの眺望も素晴らしかった。

三ノ岳の北側を少し下った所に、三ノ岳観音が祭られている社があり、そこで各自お参りをして、再び三ノ岳経由で登ってきた道を、車を駐車している二ノ岳登山口を目指して



下山することになった。女性 6 名は反対側の登山口へ下り、車で迎えに行くことになった。

男性 4 名と女性 6 名に別れて各登山口へ下りることになり、歩きだしたところ「松尾さんはこっちにきて」と女性の方の声、松尾さんの面白い話を聞きながら下山したいのか、それともボディガードとしてなのか。その辺のことは定かでないが、3 対 7 に別れて、男 3 名は登ってきた道を再び車を駐車している場所を目指して下山し、車で女性の方々を迎えに行き 2 台の車は草枕温泉を目指して走り出した。15 時 10 分ごろ草枕温泉に到着し、その温泉で登山でかいた汗を流し、車は 16 時同所を出発し、長洲港を經由して諫早市内を目指して走りだした。

今回登った二ノ岳、三ノ岳は、先にも述べていたとおり眺望も大変素晴らしく、また、気軽に登れる山でもあったし、天気も大変良かったので、楽しい一日を過ごさせていただき、至福の極みをつくさしてもらった。  
(佐藤伯隆記)

3 月 28 日(日)

### 福智山、鷹取山

(参加者) (CL) 中須賀、(SL) 福岡、川内、林田(ム)、岩永(幸)、  
鎗水、  
田中(静) 松尾(敏)、山下 (9名)



(行程) 諫早 6:00→金立→八幡 IC  
→上野登山口 10:00→白糸  
の滝→分岐→虎の尾櫻→  
源平分岐→源平櫻→八丁  
の辻 12:00→福智山頂上  
12:10(昼食)12:50 山頂発  
→鷹取山→登山口

(感想) 月に一度位しか参加でき

ない私としては、当日の天候はとても気になるもの。1 週間程前から曇りとか雨とかはつきりしない天気でしたが、当日は 4 時 50 分頃起床、雨の音なし、まず安心。

諫早駅 6:00、西駅 6:10、9 名の参加。ジャンボタクシーで出発する。私は初めてジャンボタクシーに乗った。少人数でこじんまりとして、これもまた良いものです。途中、パラパラと降り出し、ちょっと心配。どうか、晴れますようにと祈る。8 時 30 分頃上野駐車場に到着。準備体操を終え 8 時 45 分、いよいよ出発。右回り、左回りとあるそうだが我々は時計と逆コースで出発。虎の尾櫻を早く見せたいという中須賀リーダーの心づかいであった。30 分程で白糸の滝に到着。そこで写真撮影、15 分位休憩する。いよいよ本格的な登りが始まる。立木につかまりながら一步一步登る。うぐいすのなき声にはげまされ福智山虎の尾櫻分岐点に到着。30 分位で櫻に出会った。県下最大のエドヒガン桜とか。深紅の花びらがみごとに満開であった。樹齢 600 年、胸高周囲 3.8m の老木である。しかも 600 年の長い間ひっそりと 1 本だけ風雪に耐えてきたと思うとジーンと来るものがあった。まさに見頃ですばらしい桜に出会えた事、計画して下さった方々に感謝

します。

次は分岐点より反対側にある源平櫻にと向かったがまだ少し早い様で蕾ばかり。花も小さく地味な桜でした。1週間程早かったのかな・・・？桜と別れていよいよ福智山へ。急斜面が続きだんだん足が重くなる。小休止で甘い物を補いながら1時間程で眼前に待望の山頂が見えて来た。

一面クマザサにおおわれた大草原である。最後の力をふりしぼりクマザサの中を回りこむ様にして山頂に到着。巨岩が点在している山頂からは周囲をさえぎるものがなく、九重山群、阿蘇山、天気の良い日は多良山系も遠望できるそうである。

山頂には豊前の福智神社と筑前の鳥野神社の上宮の石祠がまつられていた。頂上に着いたとたん雲行きがあや

しくなり風もきつく、岩陰で昼食を取り予定より早く出発。鷹取山をめざし、下山となった。小1時間で到着。強者どもの夢のあとである、城址。水仙がちらほらさみしそうに咲いていたのが思い出されます。20分程休憩して川づたいに一路駐車場まで下り、楽しみにしていた温泉に着いたのは3時40分頃。4時30分温泉を出発。いつもの如く帰りはビールを飲みながら楽しいひとときでした。少人数でもこれまた楽し、人数に関係なく山登りは楽しいということでしょうか。

皆様お疲れ様でした。お世話になりました。

(岩永 幸子)



## 桜のようにになりたい!!!

### 3月31日(水) とけん山桜山行感想

(参加者) 中村(CL) 佐原(SL) 川原 佐藤 江崎 林 小島 森(雅) 林田  
金丸 浦田 (外) 子ども1人

(行程) 諫早(島鉄バス)8:50 橘公園前下車9:35~10:22 橘公園散策  
橘公園 10:22~古場バス停 10:30 ストレッチ 10:35  
歩き始める山道— 小浜歩道—親鸞聖人像前 休憩 11:20 —  
12:10 とけん山ふもと休憩 12:40 とけん山 生目八幡神社  
下山 13:30 中村さん先に帰宅 残り入浴後バス 15:00

橘神社までのバスは、大坂からの1人旅の青年を除けば貸しきり状態でした。その青年はインターネットの情報で小浜の日本一長い足湯のことをちゃんと知っていた。雲仙を歩く予定で仁田峠までの時間等を聞かれた。仁田峠までは乗り合いバスを利用する予定の



ようであった。境内で花びらの大きい大提灯という桜の種類を見たり、少し盛りを過ぎていたので新しく作りかえられた土俵の周囲に舞い落ちる桜吹雪が風情があった。

ひさかたの 光りのどけき 春の日に しずこころなく 花の散るらん



さてストレッチ後の山歩きは、下りではあるがごろごろしていて森林浴にもってこいのルートでこだわりを持って選ばれているだけの自然を味わえる時をもてる。そして降りてしまうと猪よけであろう金網の囲いは年年頑丈になっていて少し開けるのにこずった。そして里に下りた。みかんがなっていたり、つくしや菜の花や山桜を見ながら歩道を歩いて行く。畑と海と山とが眼前に見えて、歩く私

ちの心も広がってくる。

小浜の温泉街になるとバス通りではなく裏の商店街を歩く。あとで知ったことだが小浜はバリアフリーの街で知られ、空いた商店に障害者のお店が出来ていて、一つの試みをしているらしい。

さて、とけん山に着くと車道から一面の山桜がとても素敵でそこにずっと佇んでいたい気分になった。参加者のお孫さんもここでお弁当食べたいねと。海と空が接しているところに桜が美しくまるで絵のようである。それに雪洞も華やかな気分を盛り上げてくれる。昼食には手作りの牡丹餅やお子さまの手作りのクッキーなどを頂きとても幸せな気分になった。また、林田さんは車中、小野を通過する際に川原さんが歌っていた飛行場の歌をいつの間にか上手に歌いだした。



♪ 私の彼氏は飛行場の人夫 キュツ キュ キュー キュツ キュ キュー ♪

小野から特攻が出発したという。ドキッとしてしまう。頂上にも平和の碑があった。桜の美しさを心から鑑賞できる平和が何時までも続くことを願って、久しぶりの楽しい山行に感謝！

(浦田)



# はなだよりあれこれ



ショウジョバカマ



ハルトマノオ



ホソバコバイモ

# さくら～櫻～さくら



源氏櫻



オオシマザクラ



平家櫻



御衣黄櫻



御館山の東屋



御館山神社の階段



森山の桜街道





3月28日 福智山山頂 花冷えの日



九州最南端の桂の木  
諫早市富川溪谷にて